

世界の VRF 市場の動向

「環境エネルギーネットワーク 21」主任研究員 高橋 仁美

世界の VRF 市場に関して JARN Ltd (Japan Air Conditioning Heating & Refrigeration News) 社 から世界の VRF 市場に関するデータが発表されていますので紹介します。

市場の概観

JARN データベースによると、世界のビル用マルチ (VRF) システム市場は、年間売上げが 5.5%増加し、室外機ベースで 208 万台に達した。

VRF 市場のこの伸びは、主にインド市場の堅調な実績と中国市場の復活によるもので、2023 年の VRF 分野を一貫した成長に向けて推進していた。こうしたプラス傾向は、地政学的な紛争やサプライチェーンの中断などの様々な障害に直面した中でも見られた。しかしながら、市場の上昇カーブは、世界的なインフレの亢進と原材料コストの上昇によって抑制されている。市場では、特にヒートポンプ技術の分野やデータセンター向けで、VRF の適用範囲が拡大しており、その将来性が広がっている。業界の専門家によると、2024 年の市場規模は 2023 年の実績を上回ると予想し、前向きな見通しを維持している。中国・日本・韓国は、世界の主要 VRF 市場であり、主要な生産拠点でもある。これら 3ヶ国を合計すると、世界市場の約 70%を占める。

中国

2023 年において、中国の VRF 需要は前年比で 6.7%増加し、販売台数は 114 万台に達した。ミニ VRF 分野は一桁成長を記録した。過去 2 年間は数多くの建設プロジェクトが凍結されていたが、多くの政策的な支援に支えられ、設備の整った住宅に関連するプロジェクトが進展した。市場の規制緩和に伴って中小規模のプロジェクト分野は勢いを増し、今年初めにはインテリア小売分野において販売促進イベントや展示会が相次いで開催された。しかし、こうした成長の急増は長続きしなかった。2023 年 5 月以降、主要メーカーの出荷伸び率は大幅に低下し、エンジニアリング・プロジェクトと住宅リフォーム小売り分野の両方が伸び悩んだ。

インド

インドの VRF 市場は 20%増加し、約 7 万台、金額ベースでは 230 億インドルピー (約 430 億円)に達した。北部地域が 35%を占め、空冷式が 98%と市場の大半を占めている。住宅用の需要が横吹出し式 VRF の売上げを 35%まで押し上げ、上吹出し式は 65%となった。VRF 技術の進歩は多様な分野のニーズ並びに VRF と制御システム間の相乗効果によっ

て推進されており、室内空気質（IAQ）と自動化を強化している。

ほぼ全ての日本と韓国の空調メーカーがインドでの工場建設を加速し続けており、一部のメーカーは圧縮機の生産拠点も建設している。インドのサプライチェーンが改善されて来ており、インド亜大陸・中東・アフリカなどに供給する VRF 生産拠点となると見られる。

欧州

欧州の空調業界は、2023 年の初めは予想通りだったが、夏季以降はインフレにより低迷した。インフレは投資と消費者の購買力を低下させ、住宅分野と商業分野の両方にマイナス影響を与えた。地政学的な問題により物流が混乱したため、企業は在庫レベルを引き上げた。欧州の VRF 市場は、前年比で 0.3%減少し、21 万 5 千台となった。トルコは比較的高い製造能力を有しており、欧州とアジアの十字路という戦略的な場所に位置している。よって、アジアに生産拠点を持つメーカーにとっては、トルコは欧州向けエアコンの生産拠点としてグローバル戦略上で重要な地位を占めている。

米国

米国の VRF 市場は、前年比で 3.9%増加し、室外機ベースで 7 万 9 千台となった。その内、ミニ VRF の出荷台数は、前年比で 5.4%増加し、3 万 7 千台となった。しかしこの分野では特にマルチの範疇で著しく減少した。逆に、商業用 VRF 分野では一貫して成長を継続した。米国の広範囲にわたるガスボイラー市場を考えると、ヒートポンプ機器には非常に大きな市場のチャンスが見込まれる。多くの州がヒートポンプ機器の普及を促進するための施策を開始している。しかし、今年は大統領選挙の年であり、政治力学がヒートポンプ機器の今後の普及に大きな影響を与える可能性があるため、普及拡大の方向性をかなり不確実にしている。

中南米

JARN は、中南米市場が 8.0%増加し、5 万 1 千台に達したが、その販売台数の 38%を占めるブラジルが中南米市場を牽引したと推定している。ルームエアコン(RAC)やパッケージエアコン(PAC)と比較すると、VRF に対する低税率とコスト意識が高い点が市場を性格付けているが、一方では、低価格の RAC や PAC が好まれている。熟練した技術者の不足が課題となっている。メキシコは米国市場にとって最適な生産拠点となっている。メキシコは米国との貿易における無関税という利点を生かして、多くの企業から投資を集めている。

中東

2023 年の COP28 の開催国として、アラブ首長国連邦（UAE）は気候変動と脱炭素への取り組みを強化している。VRF システムは、エネルギー効率が高く、より厳しい基準に準拠しているため、政府の都市開発で益々普及している。JARN によると、UAE の VRF 市場は 2023 年に前年比で 19.3%と大幅に増加した。サウジアラビアによる大型商業ビルの建設や遅れていた建築プロジェクトが再開され、建築分野では回復の兆しが見られる。

東南アジア

東南アジアの VRF 市場は 2023 年に拡大したが、成長率は前年比で低下した。タイ、インドネシア、マレーシアは着実な成長を遂げた。フィリピンは市場規模が小さいにも関わらず、持続的な成長を遂げている。シンガポールは市場規模の低下が顕著であり、困難な市場状況に直面している。ベトナムの市場の低迷は更に顕著である。東南アジアの主要市場では、経済と観光が回復するにつれて中規模のアパートやホテルの需要が増加すると見られ、2024 年には更なる成長が見込まれている。

アフリカ

2023 年には、アフリカにおける約 3 分の 1 の国の GDP 伸び率が 5%以上であった。この傾向は 2024 年には更に顕著になり、アフリカは世界で 2 番目に成長の早い地域になると予想される。VRF 市場は、現在は控えめな状態だが、アフリカの人口増加と経済発展によって拡大する準備が整えば、売上げが大幅に増加すると見られる。2023 年に、アフリカの VRF 市場は、前年比で 16.0%の伸びを示し、3 万 4 千台に達した。

その他地域

2023 年、オーストラリアの新築住宅建設は 10.5%減少したが、政府の“Come and Say G'day”キャンペーンによって観光業が回復し始めた。VRF 市場は緩やかに成長し、約 2 万 7 千台に達した。メーカーは、特に人口密度の高い東部地域におけるアフターサービス網を改善している。日本は前年比で 0.1%伸びて 14 万 8 千台に達した。一方、韓国は、2.4%増加し、ガス・ヒートポンプ機（GHP）を含む工場出荷台数は 13 万 3 千台に達した。

ejarnclub 2024 年 7 月 25 日 から

世界の V R F 市場規模

